

研修参加報告書

令和 8 年8月10日

会 派 名 無 会 派
会派代表者 津田 貴史

(参加者：津田 貴史)

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和 8 年8月 6日(木)～ 7日(金)
研修時間	8月 6日 13:00 ～17:30 7日 9:00 ～14:30
研修場所	JIAM(全国市町村国際文化研修所：滋賀県大津市)
研修内容	令和 8 年度 市町村議会議員研修[2日間コース] 「自治体予算を考える」 [講義] 自治体予算の原則 講師;金崎 健太郎氏(武庫川女子大学経営学部 教授) 自治省入省、佐賀県財政課長、佐賀県総括政策監、和歌山市副市長、総務省選挙部企画官、札幌市財政局長、内閣官房内閣参事官、東京大学大学院客員教授、関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授、2020 年4月から現職 [講義] 歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント 講師;金崎 健太郎氏(武庫川女子大学経営学部 教授) [演習] グループ討議 演習テーマ_5題、演習別に 19 班 [講義] 財政の現状把握 ～地方公会計の活用～ 講師;金崎 健太郎氏(武庫川女子大学経営学部 教授) [演習] グループ討議／発表・質疑・まとめ
他	参加者:101名 江南市からは津田と藤岡議員が参加 近隣市町からは、一宮_1、岩倉_1、扶桑_1 県内からは(江南市含め)9市町村15名

研修参加報告書

■目的

行政と共に住民のための予算を作成するにあたり、必要な知識や視点を多角的に学び、まちの財政状況や施策と諸課題について考える。

■内容

8月 6日(木)・・初日

【 講義;自治体予算の原則】

13:00~14:00

《 内容 》 予算の原則や編成の流れなどの予算制度を解説し、予算書の読み方やその機能を説明するという内容。

《 印象に残った点 》

・地方公共団体と民間企業の会計の考え方

民間は発生主義会計。決算が全てで利益が重要。

地方公共団体は現金主義会計。決算は確認で予算が重要。

※『予算は預かったもので、市民に返す』という概念は新鮮。

・予算に関する原則

会計年度独立、総計予算主義、予算単一主義、予算公開

・予算に関する権利

予算の調製権は地方公共団体の長に専属、予算の提案は長の専権事項。

議会・議員には提案権はなく、発案権を侵さない限りにおいて修正権有り。

《 有益だった点 》

・執行部内の予算編成の流れの説明で、査定・調整時期が理解できた。

・予算審議(修正)や再議の進め方が理解できた。

【 講義;歳入・歳出予算の基礎とそのチェックポイント 】

14:15~16:30

《 内容 》 歳入・歳出予算の基本的な構造や考え方、予算計上の留意点を解説し、予算書のチェックポイント、検討方法を説明するという内容。

《 興味深かったこと 》

・税収の見積もり方（ 堅く見積もると住民ニーズに答えられない ）

※ 消費税率引き下げで市として税収減になるが、予算編成において何をどれだけ削減するのかをチェックする切り口が見えてきた。

・地方交付税の見込みの建て方（ 景気動向を見誤ると補正額が増大する ）

《 有益だった点 》

・予算案のチェックポイント

どの書類のどこをチェックし、審査基準(基本は横並び比較)の必要性を理解。

→ 政策的事業に対する支出金の妥当性を確認し、納得できるかが大事。

・将来の財政負担の見通しと抑制、義務的経費の状況、基金の積立・取崩し

※ 健全な財政運営の視点が深まった。

【演習】グループ討議

16:45～17:30

5タイプの演習項目→〈テーマ:公共施設の適正管理〉を選択 → ④-5班
班構成:5名(東京都_羽村市、江南市、滋賀県_野州市、兵庫県_香美町、岡山県_和気町)

【交流会】

18:00～

当該研修参加者_101名

35の都道府県から、72市39町1村の長・議員が参加(市・町長は2名)

8月7日(金)・・最終日

【講義;財政の現状把握～地方公会計の活用～】

9:00～10:30

《内容》持続可能な財政運営の為に、自治体財政の診断や分析の手法を解説し、
財政の適正化・効率化に貢献する地方公会計の基本を説明する内容。

《今回の研修で最も理解したかった点》

・健全化判断比率の成り立ちと数値の読み方・判断の基準

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率

※ 数字の横並び比較だけではなく、各自治体の状況理解が必須！！

・地方公会計の考え方と、地方公共団体の財務諸表の読み方

貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書

※ 理系頭ではついていけず、自ら起票してみないと理解が深まらない。

【演習】グループ討議 / 発表・質疑・まとめ

12:30～14:30

グループの主題は、公共施設の適正管理(更新・統合・長寿命化)

各市町の抱える課題は

羽村市)市内155ヶ所の整理縮小計画と住民の利便性確保策が不明。

江南市)すいとぴあ江南の今後の在り方(R6年9月定例会の一般質問)を報告

→プレゼン資料での説明で班員の理解が深まり、様々な視点でのご指摘
をいただいた。全体発表も行っていただき、市のPRとして貢献できた。

野州市)老朽化施設の維持運営方法。

香美町)限界集落の維持。

和気町)公共施設の統廃合、インフラの維持管理方法。

■所感

見よう見まねで行ってきた予算や決算の審査に、解析の切り口と評価の基準が理解できたことで、必然性のある提案ができるようになったと思う。

また、他市町の状況を知るにつれ、市の公共施設の在り方の考え方に偏りが見えてきた。前回の研修で得た情報も加味し、老朽化した公共施設を負の遺産ととらえるのではなく、残存価値に新たな付加価値を与えることで市民生活の利便性が向上できる策を模索し、提案につなげていきたい。